学校番号	T3017

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済（通信）	単位数	２単位	年次	２年
使用教科書	高等学校　最新政治・経済　新訂版（実教出版）						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 日々の政治経済の動向を読み取る。
- 現代社会で政治を学び、その続きとして経済分野を中心に学ぶ。
- グローバル化した現代経済を知り、様々な考察ができるようにする。

2　学習の到達目標

- 広い視野に立って，民主主義の本質に関する理解を深めさせる。
- 現代における政治，経済，国際関係について客観的に理解させる。
- 現代における政治，経済，国際関係に関する諸課題について，主体的に考察させ，公正な判断力を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の政治，経済，国際関係に対する関心を高め，意欲的に課題を追究するとともに，国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	現代の政治，経済，国際関係に関わる事柄から課題を見いだし，その本質や特質，望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的･多角的に考察し，社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の政治，経済，国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	現代の政治，経済，国際関係に関する基本的な事柄や，本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し，その知識を身につけている。
評価方法	ノート プリント 出席状況	ノート プリント 定期考査	ノート プリント 定期考査	ノート プリント 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4.5月	第1章　現代の経済	①経済活動の基本概念 ②経済主体と国民所得・国富 ③経済成長と景気変動 ④市場経済にいたる経済体制の変容 ⑤市場経済の機能と限界 ⑥企業の役割 ⑦物価の動き	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ 	○ ○ ○	a:経済活動と自らの生活とのかかわりやそれに基づく課題を意欲的に追求し、課題解決にむけて多角的、多面的に考察する。 b: 経済活動に関わる事柄から課題を見いだし，その本質や特質，望ましい解決の在り方について様々な方法で適切に表現している。 c:経済活動に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。 d:経済活動の基本概念や、市場経済の仕組み、経済主体それぞれの役割などを理解する。	定期考査 ノート プリント 出席状況
6.7月	第2章　金融と財政のしくみ	①金融のしくみとはたらき ②財政のしくみとはたらき	○	 ○	 ○	○ ○	a:金融や財政についての課題を意欲的に追求し、課題解決にむけて多角的、多面的に考察する。 b: 金融や財政についての課題を見いだし，その本質や特質，望ましい解決の在り方について様々な方法で適切に表現している。 c:金融や財政に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。 d:金融や財政についての基本概念や、仕組み、それぞれの役割などを理解する。	定期考査 ノート プリント 出席状況

9月	第3章　日本経済のあゆみと現状	①日本経済の変化 ②中小企業の現状と問題 ③環境をめぐる問題 ④消費者をめぐる問題 ⑤農業をめぐる問題	○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	○	a:日本経済の諸課題を意欲的に追求し、課題解決にむけて多角的、多面的に考察する。 b: 日本経済に関わる問題の本質や特質，望ましい解決の在り方について様々な方法で適切に表現している。 c:日本経済の現状に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。 d:日本経済の諸問題や政策、その現状などを理解する。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。